

先進事例に学ぶ危機管理と地域共生

～日頃からの「共生」が支えるレジリエンス（危機対応力）の構築～
開催要項

1 趣 旨

事業所・施設における利用者の安全確保は、最も重要な責務であり、防災・減災及び防疫対策はその根幹をなします。これまででも県からの指導に基づき、防災マニュアルの作成や避難訓練の実施に努めてまいりました。

しかしながら、多くの現場において、その対策や訓練の内容がマンネリ化し、形式的な実施に留まり、本当に災害が発生した際に利用者や職員を守るという本来の目的から乖離しているのではないかという強い問題意識があります。また、近年の大規模災害や感染症の発生は、従来の閉鎖的な施設運営を前提とした危機管理の限界を露呈しました。

【本研修の目的】

本研修は、こうした現状を深く反省し、実効性の高い危機管理体制を再構築することを目的とします。具体的には、以下の三点を達成することを目指します。

1. 知識のアップデートと危機の本質理解

防災、減災、そして防疫に必要な最新かつ幅広い知識を学び、形式的な対策ではなく、人命と安全を守るために危機の本質を理解します。

2. 実効性のあるブラッシュアップ

既存の防疫対策や防災マニュアル、避難訓練などを、机上の空論に終わらせず、現場で機能する体制へと具体的にブラッシュアップする方法論を習得します。

3. 「ごちゃまぜ」に学ぶ新たな危機対応力（レジリエンス）の構築

石川県佛子園の先進事例である「ごちゃまぜ」の取り組みを通して、福祉施設を地域から隔離するのではなく、地域に開かれた「賑わいの拠点」とすることが、平時の共生関係を築き、それが災害時の迅速な互助・連携体制へと転換するという、新しい危機管理の視点と実践方法を深く理解します。

本研修を通じて、参加者一人ひとりが、既存の対策を乗り越えるための新たな視点と具体的な対応策を身につけ、それぞれの支援現場における利用者及び職員の安全を確保するため、強靭かつ柔軟な危機管理体制の確立に貢献することを期待します。

2 主 催 山口県障害福祉サービス協議会

3 共 催 山口県社会就労センター協議会（山口県セルフ協）

4 後 援 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会（予定）

山口県社会福祉法人経営者協議会（予定）

一般財団法人 山口県知的障害者福祉協会（予定）

5 日 時 令和8年3月10日（火） 午後1時～午後4時20分

6 会 場 山口県社会福祉会館 4階 大ホール（山口市大手町9-6）

7 定 員 各50名

8 対 象 者 障害福祉サービス事業所・施設の管理的立場（管理者、施設長、事務長等）にある方、その他、テーマに関心のある方など

9 参 加 費

(1) 研修会	会員事業所	2,000円／1名 または1メールアドレスあたり
	山口県知的障害者福祉協会会員	4,000円／1名 または1メールアドレスあたり
	山口県経営者協議会会員	4,000円／1名 または1メールアドレスあたり
	非会員事業所	8,000円／1名 または1メールアドレスあたり
	※行政職員は、参加費免除（無料）です。	

- ・研修会参加費は、2月27日（金）までにお振込みになるか、当日御持参ください。
- ・お振込みいただいた参加費は返金いたしかねます。当日欠席の場合は、資料等の送付に代えさせていただきますので、御了承ください。

(2) 情報交換会 先着20名 6,000円／1名あたり

日時：令和8年3月10日（火）午後6時～午後8時30分

会場：居酒屋 武蔵 山口店（山口市湯田温泉3丁目1-32）

※講師の竹中誠氏を囲み、佛子園での「ごちゃまぜ」の取組や「能登半島地震からの復興」について詳しくお話を聞くことが出来ます。

10 参加申込 Web の「申込フォーム」または別紙「参加申込書」にて、お申込みのうえ、参加費を指定口座へお振込みください。

・申込フォーム URL : <https://forms.cloud.microsoft/r/je5TSs2fHD>

申込フォーム 障サ協 HP



※障サ協HP（<https://www.ymg-sfs.jp/>）の「お知らせ」にもリンクがあります。

参加費振込先【振込締切：令和8年2月27日（金）】

振込口座	山口銀行 県庁内支店
口座番号	普通預金：0062305
口座名義	山口県障害福祉サービス協議会 会長 古川 英希（ふるかわ ひでのぶ）

11 申込締切 令和8年2月27日（金）まで

12 日程・内容

時 間	内 容
12：30	開 場・受付開始
13：00	開 会 開会挨拶 山口県障害福祉サービス協議会 会長 古川英希
13：15	動画視聴 輪島力ブーレ「災害を乗り越える『ごちゃまぜの力』」
13：30	講 義 「ごちゃまぜ」の力に学ぶ、開かれた事業所と地域連携の可能性 質疑応答 【講 師】社会福祉法人佛子園 理事 日本海俱楽部 施設長 竹中 誠 氏
(15分)	休 憩
15：10	講 義 「能登半島地震・豪雨災害からの再生～より良い復興への挑戦～」 質疑応答 【講 師】社会福祉法人佛子園 理事 日本海俱楽部 施設長 竹中 誠 氏
16：20	閉 会

13 その他の事項

- (1) オンライン参加の方には、令和8年3月4日（水）までに招待メールを指定のメールアドレスへお送りします。
※上記期日までに招待メールが届かない場合は、直ちに事務局（電話番号 083-924-2799）にお知らせください。研修会当日の問い合わせは対応が難しい場合があります。
- (2) 状況によって開催内容の変更、または中止とさせていただく場合があります。
また、主催者側での回線状況や機器トラブル等により受講に支障をきたした場合は、別途対応を検討させていただきます。

14 個人情報の取扱い

参加申込等で得られた個人情報は、研修会の運営のみに使用します。

15 問合せ・申込先

山口県障害福祉サービス協議会 事務局 担当：今井、田村
(社会福祉法人山口県社会福祉協議会 総務企画部 福祉振興班)
〒753-0072 山口市大手町9番6号
TEL：083-924-2799 FAX：083-924-2798
Email syougai@yg-you-i-net.or.jp
障サ協HP <https://yng-sfs.jp>

講 師 竹 中 誠 氏

社会福祉法人 佛子園 理事／日本海俱楽部 施設長

1977年石川県生まれ。

石川県社会就労センター協議会 会長、クラフトビール石川協同組合 理事長、能登町観光協会 理事などを務め、地域福祉と地域産業の融合を図られています。

能登半島地震後は、JOCA（青年海外協力協会）と連携し、被災地における仮設住宅内コミュニティセンターの設立・運営を推進されています。

福祉とまちづくり、観光、クラフトビール産業をつなげた「ごちゃまぜのまちづくり」を実践し、福祉の枠を超えた新しい地域共生モデルの構築を目指しておられます。

概 要

講演では、社会福祉法人佛子園における実践を通して、「ごちゃまぜ」をキーワードに、福祉事業所が地域に開かれ、多様な人々とつながることの意義と可能性について考えます。高齢者、障害のある人、子ども、地域住民、観光客など、立場や属性を分け隔てなく受け入れる場づくりは、支援される側・する側という関係を超え、新たな価値や役割を生み出してきました。講義では、開かれた事業所づくりの背景や具体的な取り組み、地域連携がもたらす効果について紹介し、これからの中の福祉事業所としての在り方を皆様とともに考えます。

後半では、能登半島地震および豪雨災害という未曾有の困難に直面した現場から、復旧・復興の過程で見えてきた課題と可能性についてお話しします。単なる「元に戻す復興」ではなく、地域の弱さと向き合いながら、より良い未来を目指す「創造的復興」への挑戦は、平時の地域づくりや福祉の実践とも深くつながっています。災害時に福祉が果たす役割、地域との日常的な関係性の重要性を振り返りながら、持続可能な地域社会の再生について考察します。

本講演が、参加者の皆様にとって、日々の実践を見つめ直し、地域とともに歩む福祉の可能性を再発見する機会となれば幸いです。

動 画 研修会参加前にご覧ください。

- 全国社会福祉法人経営者協議会「社会福祉 HERO'S ちゃんねる」

<https://www.youtube.com/watch?v=x-SWOQS0mwQ>

- 社会福祉法人佛子園 輪島力ブーレ「災害を乗り越える『ごちゃまぜの力』」

<https://bussien.com/post/5121/>